

卒業・退職や所属変更によるアカウント失効についての注意：学習・研究成果を失わないために

卒業・退職等により東京大学から離籍する際には、UTokyo Account が失効し、Zoom や ECCS クラウドメール、Microsoft 365 などの各種情報システムが利用できなくなります。アカウント失効後はシステムに保存されているデータにアクセスすることもできないため、必要に応じて事前にデータのバックアップを取るようしてください。加えて、UTokyo Antivirus License などの一部の情報システムには、離籍に伴って利用権限がなくなるにもかかわらず、自動的に利用が停止されないものがあります。それぞれの指示にしたがって利用を終了してください。

また、東京大学内で所属が変わる際には、学生から教職員になる場合・教職員から学生になる場合や、所属変更にあたって一度在籍期間が途切れる場合に、UTokyo Account が失効します。この場合、卒業・退職等による離籍の場合と同様に、各種データのバックアップを取る必要があります。

詳細は以下のページをご覧ください。

アカウント失効の有無や時期について

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/systems/leave/>

データのバックアップ方法について

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/systems/leave/backup>

問い合わせ：utelecon サポート窓口

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/support/>